

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
たくましく未来を拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 14 2019. 3. 4 (MON.)

「目標」と「目的」

3月に入りました。いよいよ、学年末の集大成、卒業式も目の前です。3年生は、自分の夢や目標に向かってさらに力強く歩を進めて欲しいと願っています。

さて、その「目標」と「目的」という言葉。よく似た日本語のつもりで、私たちも同じように並べて使うことも多いのですが、実は意味あい違います。目標とは「〇〇に向かって」であり、目的とは「〇〇のために」ということです。明確な目標を持つことはもちろん大事なことです。目標があっても目的が無ければ、さまざまな困難にぶつかったとき、安易にその目標を断念してしまう、と聞いたことがあります。しかし、目標と同時に目的を持っていれば、それがとても大きな力になります。このことを私はクロスカントリースキーのパラリンピック日本代表選手、新田佳浩さんにあらためて学びました。

新田さんは、兵庫県との県境、岡山県西粟倉村という、雪の多い山あいの村に生まれました。家は代々続く米農家です。3歳のとき、おじいちゃんが運転する農機具のコンバインに左手を巻き込まれ、肘から先を失いました。以来、障がい者としての運命を背負うこととなります。それでも翌年の4歳からスキーを始めた彼は、小学校に入るとクロスカントリースキーに夢中になりました。3年生のときに初めて参加した地元で優勝。その後、県大会でも優勝するなど、小学校を卒業するまで4つの優勝トロフィーを手に入れました。しかし、中学になって壁にぶつかります。両手でストックを使う健常者の選手に勝てなくなったのです。最初の挫折でした。そして中学3年のとき、スキーをやめてしまいます。

しかし、転機は高校1年のとき訪れました。2年後に迫った長野パラリンピックの関係者が出場を勧めに来たのです。当初、健常者と競ってきた新田さんは、障がい者スポーツに興味を示しませんでした。しかし、関係者に見せられたビデオに釘付けになったのです。そこには新田さんと同じ左手のないドイツの選手が障がいがあるとは思えない速さで滑っていました。

そして、元々実力のあった新田さんは長野では8位、翌年の世界選手権で優勝、そしてソルトレイクシティパラリンピックでは銅メダルを獲得します。4年後のトリノパラリンピックでは金メダルの最有力候補でした。そのためにスタッフは、新田さんの身体のハンディを科学的に分析し、右手一本でも健常者並みにスピードが出るフォームを3年かけて作り上げました。確実に金メダルに向かってははずでした。迎えた3度目のパラリンピック、トリノ大会。競技中、アクシデントが起きました。バランスを崩して転倒してしまったのです。片手なのですぐに起き上がることが出来ませんでした。結果は大敗。トリノから自宅に戻った新田さんは、ついに家にひきこもってしまいます。



(1/23 2年生「村中の未来」)

家にはおじいちゃんがいました。自分の運転するコンバインで、可愛い孫の片腕を奪ってしまった…。事故直後、息子であり、新田選手の父親である茂さんにおじいちゃんはどう言ったそうです。「この子と一緒にわしは死ぬ！」その後もずっとおじいちゃんは自分を責め続けてきたのです。そのことをいつしか新田さんも気づくようになってきました。自分のことばかりの気持ちから、周りのことが見えるようになってきました。家の中にいるおじいちゃんを見て、目的を見失っていたことに気づいたので、彼の目標はいつも「金メダル」でした。しかし、何のための金メダルな

のか忘れていたのです。以前、金メダルを取っておじいちゃんに掛けてあげて、「おじいちゃんは俺にとって最高のおじいちゃんだよ」と言ってあげることが夢だった、そのことを思い出したのです。

「目標は金メダル、目的はおじいちゃんのために」を胸に、新田選手は4度目のパラリンピック、バンクーバー大会に挑みます。いつしか29歳になっていました。そして、2個の金メダルを獲得し、凱旋します。実家に戻った新田選手は、92歳になったおじいちゃんの首に2個の金メダルを掛けてあげました。何かに挑戦しようとするとき、「誰かのために」という目的がある人はあきらめません。すごい力を発揮することがあるのも、何か目に見えない力があるのでしょう。

私はこの話に出会い、生徒に対しては常に目的を意識させることを、そして自分自身には、「生徒のために」という目的を決して忘れてはならないということあらためて強く思いました。

快挙！中村さん全中5位入賞！！

☆第56回全国中学校スキー競技大会 (2/4~7 新潟県苗場スキー場)

【女子ジャイアントスラローム】

第5位 中村 祐希 (2年) 井上 真里愛 (1年) 途中棄権

【男子ジャイアントスラローム】

第90位 坂本 歩崇 (2年)

【女子スラローム】

第34位 中村 祐希 (2年) 井上 真里愛 (1年) 1本目69位 2本目進めず

【男子スラローム】

坂本 歩崇 (2年) 途中棄権



新聞紙上等でもご存知のように、中村祐希さんが新潟で行われた全国中学校スキー大会回転競技で5位入賞を果たしました。兵庫県としては12年ぶりの一桁入賞、本校では6位に入った、先輩の東垣あき子さん以来の上位入賞でした。坂本くん、井上さんも頑張ってくださいました。

☆香美町児童生徒表彰

【町長賞】 中村 祐希

【教育長賞】 坂本 歩崇 井上 真里愛

☆兵庫県中学校バレーボール男女優勝大会 (2/2 姫路市中央体育館・置塩中学校他)

【女子】

1回戦 VS 氷 丘(東播) 2-0

2回戦 VS 香 寺(中播) 1-2

【男子】

1回戦 VS 園田東(阪神) 0-2

☆但馬中学校選抜バスケットボール大会 (2/2 出石中学校)

【男子】

1回戦 VS 浜 坂 56-18

2回戦 VS 豊岡北 33-46

【女子】

リーグ1回戦 VS 関 宮 14-85

リーグ2回戦 VS 八鹿青溪 20-59

リーグ3回戦 VS 出 石 46-42

☆但馬中学校卓球1年生大会 (2/2 八鹿総合体育館)

【男子】 第1位 田中 瑠紀 第2位 今岡 功貴 2選手は3月の県大会へ！

新年度生徒会役員決定！



来年度の生徒会役員立会演説・投票が行われました。立候補者も責任者もみな素晴らしい演説でした。投票により、残念な結果になった人もいますが、「学校を自分が引っ張る、リードする」との思いで立った人たち。「その心意気やよし！」です。必ずや今後生きる経験になったはず。新役員(会長:西谷楓輝くん、副会長:福井峻くん・藤岡舞さん、書記:中村優月さん)の皆さんには、1年間の長丁場ですが、ますます生徒会が、そして村岡中学校が活性化するよう大いに期待しています。

第10回卒業証書授与式 (3月8日(金) 9:00開式)

いよいよ卒業式が今週金曜日、3月8日に迫ってきました。式練習も今日から始まっています。本年度卒業生36名を加えて、統合後の本校卒業生は471名となります。

3年生にとって、卒業式は「最後の授業」です。後輩たちの「あこがれの先輩」として、中学3年間に思いを馳せ、人生の決意たる歌と返事で学び舎を巣立ってってください。(文責:才田 寛)